



地球大学アドバンス 第32回

[TOKYO SHIFT シリーズ 第4回]

TOKYOが日本の森を元気にする

2010.7.26 mon

日本の森を元気にする鍵は、意外にもTOKYOのような都市が握っているのかもしれませんが。森を手入れし、間伐材を健全に循環させるには、木造住宅の建設や家具・製紙などに間伐材を有効に利用し、かつそれを大規模な需要に基づいて安定的に流通させる仕組みが必要です。つまり潜在的な需要地である都市とその周辺の森との「地域間連携」のデザインが重要になるのです。

その意味で、東京芸術大学教授で建築家の北川原温氏が推進する、宮大工の「木組み」を生かした木造プレハブ住宅のシステム化、それによる地産間伐材の循環利用の試みは大きな示唆を与えてくれます。従来の工業的な木材利用の枠を超えて、木を生命素材として活かす伝統工法の考え方を取り入れながらも、それを大量生産・大量流通可能な形でユニット化し、木材の地産地消が健全な森づくりを支えていくような構造をつくる。木造住宅は、CO2排出削減の観点からも最も環境負荷の低い建築工法ですが、単体としての住宅の質をこえて、いわば「木の家づくりが森づくり、国づくりにつながる」ようなソーシャルデザインがいま求められています。

都市に暮らす私たちのライフデザインが、地方の森を元気にする——。丸の内ですごった「生グリーン電力」が日本中のグリーン化と風車増設の起爆力となるように、この東京のど真ん中から、日本の森づくりのビジョンを語るような動きを本格化していきたいものです。

開催概要

日時:2010年7月26日(月) 18:30~21:00

ゲスト:北川原 温 氏

(東京芸術大学 教授 / 北川原温建築都市研究所 主宰)

小沼伸太郎 氏

(三菱地所ホーム株式会社 発注統括室長)

企画・司会:竹村 真一 氏

Earth Literacy Program 代表

エコツェリア・コンテンツプロデューサー

会場:新丸ビル10階「エコツェリア」

地図:<http://ecozeria.jp/access.htm>

定員:50名(定員になり次第締め切りとさせていただきます)

参加方法:事前登録が必要です

事前登録URL <http://www.ecozeria.jp/earth/>

参加費:エコツェリア会員企業に所属の方:無料

*名刺にて照会いたします。名刺(社員証)を必ずご持参下さい。

エコツェリア会員企業非所属の方:有料2,000円

プログラム 18:00 受付開始/18:30 開演/21:00 閉会